



第53号

2025.10月発行

〈発行〉
山形市子ども会
育成連合会

〈事務局〉
〒990-0047
山形市旅籠町2-3-25
山形市教育委員会
社会教育青少年課内
編集／文化部
印刷／(株)大風印刷



山形市子ども会育成連合会 会長 前田 浩一



日頃より皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は子ども会活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、このたび定時総会決議により、前会長佐藤博之様の後任として、令和七年五月から山形市子ども会育成連合会会長に就任しました。

子ども会は、異年齢の子ども達が、地域の中で多様な体験をし、自主的活動を通じて社会性、知的能力、情操、体力、創造性などを育む重要な場です。互いが触れ合い、体験を共有しなければ、活動は成り立ちません。

コロナ禍では、その「触れ合い」が大幅に制限されました。大人の場合は、在宅ワークやウェブ会議など、仕事や生活のスタイルを大きく変えることでコロナ禍を切り抜け、今に至っています。何もかも以前の交流スタイルに戻ることはもうないでしょう。

子ども会活動も、コロナ前に戻るのではなく、新しい方

向を考えなくてはならない時期にきています。しかし、子どもの成長に必要なものが「触れ合い」であることに変わりはありません。ネット社会の中で、どうすれば子ども達に「地域の中での触れ合い」と「体験共有」の場を提供できるか、その工夫が求められています。

子ども会は、私たち親にとっても子育ての悩みを相談し合う場、子育ての知恵を授かる場、生活の情報を交換する場になります。親同士の交流の場、学びの場になることによって親にとっても魅力ある活動になる力を秘めています。以上のように、子ども会を通して子ども達が地域の大人たちと交流を持つことによって、地域の活力が生まれ、高まります。地域の大人達が、地域の子ども達に関心を持つことによって、地域の安全も生まれます。私たちが顔を合わせ交流することで、子ども会の新しい方向性や可能性も開けて来ると 생각합니다。

諸先輩方や会員皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りながら、会長職を務めて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

事業内容

令和7年度

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

- 令和7年度定期総会
育成功労者表彰式(17日)
合同専門部会(27日)
令和7年度県子連定例総会(24日)
- 第1回幹事会(14日)
- 第1回常任委員会(23日)
- 県リーダー研修会(26、27日)
- 東北地区ジュニアリーダー大会(1、3日)
- 県子連理事会
- リーダー研修会・秋の自然体験(4、5日)
- 第2回幹事会(21日)
- 安全啓発初級ファシリテーター養成講習会
- 「かがやく瞳」第53号発行
- 東北地区子ども会育成研究協議会山形大会(1、2日)
- 山形市子ども会育成連合会夏の競技大会
(第9回かけっこリレー・駅伝大会29日)
- 全子連中央会議・研究大会(15、16日)
- 中間監査・第3回幹事会
- 第2回常任委員会・新年会
- 県リーダー研修会
- KTY研修会・安全共済会説明会
- 県子連理事会
- 第3回山形市子ども会干ルック大会(22日)
- 「かがやく瞳」第54号発行
- 第4回幹事会
- 期末監査・第3回常任委員会



今も記憶に残る、 子ども会活動での貴重な体験

山形市教育委員会 社会教育青少年課長 阿部 宏

皆さんはじめまして。私は、4月に社会教育青少年課長となりました阿部宏と申します。

はじめに、山形市子ども会育成連合会（市子連）の皆様におかれましては、日頃より、子どもたちの健やかな成長につながる様々な活動に取り組んでおられることに、心より感謝を申し上げます。

また5月に勇退されました佐藤前会長には、長年にわたり子どもたちの健全育成、及び子ども会活動の発展のために御尽力いただきましたことに、心からの敬意と労いを申し上げます。前田新会長におかれましても、引き続き、よろしくお願いいたします。

さて話は変わりますが、私は小学校高学年の頃、町内会の子ども会活動で夏休みに行った蔵王への登山が今でも記憶に残っています。「あかつき登山」と言って真夜中（午前3時頃）にバスで出発し、蔵王では夜明け前に登山を開始して山頂付近で日の出を見る、という活動でした。当時は子どもも保護者も大勢参加して、大型バスは補助椅子まで使って満席でした。私は5・6年の2回参加しましたが、1回は雨、もう1回も曇りで、綺麗な日の出は見られませんでした。その後、みんなで下山して、温泉旅館の大広間で、おにぎりを食べたりジュースを飲んだりしてお昼頃まで休憩を取りました。休憩時には、（保護者の発案で）子どもたちが全員の前で（強制的に）1曲歌わせられました。でもこうしたことがきっかけで、クラスや学年の違う子たちとも自然に仲良くなり、出発から帰りのバスが集合場所に到着するまで「ずっと楽しかった」という記憶だけが残りました。それから50年近く経った今も覚えているということは、当時の私には、とてもインパクトのある、貴重な体験だったのだと思います。保護者の方々に感謝ですね！

私が子どもの頃に比べると、現在の子どもの会活動は本当に大変だと思います。単に少子化ということだけでなく、親御さんも様々な理由で、なかなか子ども会活動への参加が難しい、という方が増えているのではないのでしょうか。（かく言う私も、日々の生活に追われ、親としての子ども会活動への参加には極めて消極的でありました……）このような中にあっても、子どもたちのために懸命に取り組んでいただいている保護者の皆様方には、本当に頭の下がる思いです。市子連、並びに保護者の皆様方、これからも、子どもたちの記憶にいつまでも残るような素晴らしい活動を期待しております！

山形市子ども会 育成連合会【総会報告】

日時…令和七年五月十七日（土）
場所…山形テルサ大会議室

令和七年度山形市子ども会育成連合会の総会を五月十七日（土）、山形テルサ大会議室において開催しました。

ご来賓の方々を代表し、山形市長 佐藤孝弘様よりご祝辞をいただきました。

議事では、令和六年度の事業報告および令和七年度の事業計画等の説明があり、議案についてはすべて承認されました。

総会に引き続き、育成功労者の表彰があり、次の個人が表彰されました。

【山形市長感謝状】

・山形市子ども会育成連合会

会長 佐藤 博之

【令和六年度功労者の部（三名）】

・第十学区 レクリエーション安全部

部長 川元清一郎

・出羽学区 リーダー研修部

部長 長内 幸樹

・南沼原学区 文化部

部長 亀井 千夏

【幹事退任】

・高瀬学区

土田 隆文

【優良功労育成者表彰】

・鈴川学区

小玉健太郎

【優良功労育成者表彰（団体の部）】

・第三学区子ども会育成連合会

【山形市子ども会育成連合会感謝状】

・山形市子ども会育成連合会

会長 佐藤 博之

正表彰・会場 小野 崇文（宮浦）
副表彰・会場 木村 秀喜（出羽）
監事 川村 由香（西） 村上 勝彦（高瀬） 矢萩 由香（金井）

第 三	ゴミ拾い、スケートorモルック
第 七	モルック大会2回
第 九	ボルダリング、ボウリング、菓子作り体験、かまくらキャンドル
西	町内会：夏・秋祭り、ダンス、太鼓
第 二	陶芸教室、ラジオ体操、子ども御輿、花笠まつり参加、ボールゲーム、バーベキュー
第 五	ふるさと秋祭り（山大生協力）→10月18日13～16時 第五小学校
第 六	だがしや楽校、だるまさんが転んだ（5月25日実施）
第 八	馬見ヶ崎川でのマスつかみ取り、陶芸教室
南	ドッチボール、モルック、スケート
鈴 川	モルック体験会、鈴川祭り出店
東	一年生歓迎会、ラジオ体操、夏祭り、子ども御輿
楯 山	プール、ラジオ体操、草刈、ゴミ拾い、盆踊り、地区運動会、子ども御輿、文化祭、ソフトバレー
高 瀬	モルック体験会、べにばな祭り出店
千 歳	ゴミ拾い、文化祭
出 羽	モルック、文化祭出店、ゴミ拾い+お菓子すくい
大 郷	ドッチボール、文化祭
宮 浦	御輿、ボウリング
南山形	モルック体験会
南沼原	芋煮会、御輿
蔵 王 一	モルック体験会、御輿
桜 田	御輿、ラジオ体操、盆踊り、レクリエーション、歓送迎会
山 寺	御輿、文化祭出店、こけし雪だるまコンテスト
金 井	ラジオ体操、作品展、ふれあい広場

山形イブニングロータリークラブ様より 「モルック」「横断幕」贈呈式

9月1日(月)山形イブニングロータリークラブ様（浦山 一豊 会長）の例会におきまして、モルック5セットと、レク部行事で掲出する横断幕を贈呈いただきました。

御礼の言葉として、前田会長より、これまでに贈呈いただいたモルックは市内各地区の子ども会や地域行事に貸し出され、各地で大会が盛んに行われていることや、昨年度開催された市子連のモルック大会は参加小学生100名という、とても大きな規模で開催されたことなどを報告しました。

またモルックの簡単なルール説明も行い、山形イブニングロータリークラブ会員の皆様にも、更に興味をもっていただきました。



（写真右 浦山会長、左 前田会長）

山形イブニングロータリークラブ様の温かいご支援に感謝し、大事に活用させていただきます。大変ありがとうございました。



「モルック」無料貸出します

今回贈呈いただいたものを含め市子連で所有しているモルックは20セットとなりました。

山形市内の学区連合会、単位子ども会、PTAなどにも無料で貸し出していますので、各学区代表者を通してお気軽にお問い合わせください。



編集後記 「かがやく瞳第53号」をご覧くださいありがとうございます。

現組織と今年度の行事等ご紹介させていただきました。今後行われる行事の取材を通して、頑張る子どもたちの、たくさんの笑顔あふれる姿を見ることができるようになればと思います。また、かがやく瞳を通して子ども会育成連合会の活動を知っていただければ幸いです。今回ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

文化部長 鹿野 直人



編集委員 会長 前田浩一（南沼原）・副会長 安達恭一（鈴川）・部長 鹿野直人（鈴川）・副部長 齋藤 勲（第五）
小野崇文（宮浦）